

日本・ネパール外交関係樹立60周年記念行事報告書

●2016年11月30日 ネパール政府の大臣より賞を受賞
ネパール政府の厚生労働大臣 Labour & Employment Ministry, Minister
Honourable Surya Man Gurung より
「International Friendship Award Expert of The Year」
という賞を頂きました。



今回のネパール滞在では、6月にネパール地震被災地仮設テントを訪ねたことをきっかけに（下記詳細）、今回は300名のテントの皆さんを励ますコンサートをコミュニティーセンターで開催。ネパールの代表的な歌をネパール語で歌いとても喜んで頂きました。



今回も、テントを訪れると、そこは以前よりも劣悪な環境の中で人々は暮らしていました。まだ300人以上がここにいるそうです。



そして、6月のコンサートでも共演したネパールの人気シンガーDharmendra Sewanさんと再び共演をする機会を頂き、コンサートに出席されたネパール政府の厚生労働大臣Honourable Surya Man Gurung Minister, Lobour & Employment Ministry in Napal より、「**International Friendship Award Expert of The Year**」の盾を直接手渡して頂きました。コンサートの模様はネパールTVのニュースで報道されました。



仮設テントでの活動や、学校への寄付などを評価して頂き大変光栄です。また、その他政府の関係の方も多く出席されそれぞれ賞を受賞されていました。



ネパール地震1年メモリアルコンサート

2016年 6月30日 会場：**Army Officers Club Sundhara**

主催：**RAN JEET KARN ・ FUJI OK Japanese Language Center Pvt.Ltd**

後援：**JICA 国際協力機構 ・ 在ネパール日本国大使館**

出演：**NAOMI SUZUKI ・ DHARMENDRA SEWAN**

ネパール外交樹立60周年記念行事としてネパール地震メモリアルコンサートの出演依頼を受け、ネパールに行きました。6月29日ネパールの空港に到着すると数台のテレビカメラが取材のため待受けていました。街中にはこのポスターが壁や電柱に貼られ歓迎ムードでした。



到着と同時に記者会見 またテレビでもコマーシャルが流れました
 コマーシャルのリンク <https://www.youtube.com/watch?v=e2mJuGTYifs>



6月30日 会場は街の中心にある軍事施設の中の800人のホール。満員の観客に、副首相、数名の大臣、在ネパール日本大使館より外務省の方も参加されました。大使館、JICA、The 60th Anniversary Of Diplomatic Relation between Japan & Nepal の看板も大きく出されていました。



私は、日本で発売したオリジナル曲の『復興支援ソング』や、ネパールで誰もが知っている『RESHAM FIRIRI』という歌をネパール語で覚えて歌ったところ観客は大喜び大歓声でした。日本からは、高橋圭一さん (Guitar) が参加しました。



日本やイギリスではあり得ないほどの『叫び』のような大きな歓声でした。
共演のDharmendra Sewanさんはネパールで人気アーティストです。
民族衣装も着させて頂き、音楽を心から楽しむオーディエンスに乗せられて私もとても楽しめました。



その模様は後日テレビ放映されました。



大臣らに労をねぎらって頂き、大変貴重な時間を過ごすことができました。

7月2日の早朝7時半。コンサートの収益を150個の通学カバンに換えて寄付にする為に、**Adarsha higher secondary school**を訪問しました。週末なのに、子供たちはこの為に登校してくれ賑やかに「お渡し式」が行われました。電気や黒板などない教室でした。



子供たちの笑顔がとても輝いて素敵だったのでスピーチで「一生その可愛い笑顔を輝せてね」と伝え私の曲「**Smile at me**」を歌いました。子供たちから、コンサートで唄ったネパールの歌**RESHAM FIRIRI**のリクエストが！！一緒に歌って盛り上がりました。ネパールの人達の純粋な笑顔に心打たれました。子供たちの笑顔は世界の宝！



訪問を伝えたのが前日だったにもかかわらず、花束やレイを準備して渡してくれ感動しました。



ネパール地震の被害者仮設テント訪問

この中にサッカー場が何個入るだろうか？そんな広い敷地にひしめき合う数千のテント。現状を知りたく、取材することにしました。カメラを持っていると、もしかしたら



「攻撃されるかもしれない？」という不安もありましたが、雨期でドロドロの敷地に入っていくと、中から笑い方を忘れたかのような女性が出てきたので、身を固めて恐る恐る近づくと、ポツリポツリと大変な生活の説明をはじめました。



そして、「テントの中の写真を撮影して世界の人達に知らせて欲しい」と言われ、テントの中に招かれ撮影させて貰いました。非常に劣悪な環境で生活していて、畳3畳くらいのスペースに8人が寝ているそうです。雨期で大雨が流れこんできます。大半の方が病気になっているそうです。絶望していました。



一人の被災者の方と話しているうちに、他のテントから女性が次々出てきて、皆さん口々に病気の事や、生活の不安を話されていました。もっと話をしたそうでした。



皆さんの為に、少しでも癒しになったら..と「星に願いを」を歌いました。笑顔で拍手を沢山くれました。

ネパール地震から1年以上経過した今も、当時と変わらない、、、いやそれより酷い生活をしている人が沢山います。行政の対応が急がれると共に、ここにも支援の必要な人達が居ることを思い知らされました。

こんな状況の中でも、子供は素直な笑顔を向けてくれます。ネパールの人達の汚れていない純粋で素直な笑顔と心に、何度も心を打たれました。



水道をひねれば濁った水が出てくる。生野菜を食べると食中毒を起こす。交通に規則がない。昨年までは憲法がなかった。日本人としては考えられない生活環境の中でもピュアな笑顔で接してくれる人達に感動したネパールの旅でした。そしてネパール外交関係樹立60周年記念という今年、日本人としてなにか出来ることはないかと考えさせられました。

2016年7月5日 鈴木ナオミ

コンサート・仮設テント映像 : https://www.youtube.com/watch?v=aSIIZolP_Ss
(2016年11月17日公開)